

札幌大谷大学同窓会

# OTANI 真<sup>しん</sup>心<sup>しん</sup>会

同窓会だより

第42号 平成30年10月1日発行

〒065-0016 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷学園百周年記念館内

電話・FAX 011-743-6466

<http://www.sapporo-otani.ac.jp/dousoukai/>



**卒業式**

平成30年  
3月10日(土)

**入学式**

平成30年  
4月4日(水)



札幌大谷大学 学長 高橋 肇

昨年度は、認証評価の年に当たって  
おりました。五月に学長直属のプロ  
ジェクトチームを立ち上げ、自己点検

評価書を作成し、十月には評価員団に  
よる実地調査を受け、おかげさまで無  
事に「適合」の評価をいただきました。

学園キャンパスには、耐震対応がで  
きていない建物が残っておりまして。

昨年四月以降、建築計画を具体化し、  
中高南校舎解体、北棟一号館代替新校  
舎建築、中高新校舎新築の方針を決定  
しました。今春から解体工事が始まり、  
六月に起工式を執り行いました。来年  
三月には新校舎が竣工します。建築資  
金につきましては、金融機関からの融  
資を受けつつ、寄付金を広く募集しま  
す。同窓会の皆さまのご支援をよろし  
くお願い申し上げます。

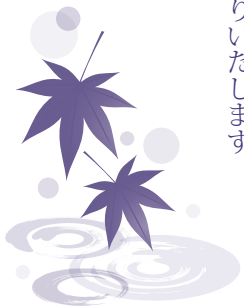
昨年十月より全学カリキュラム改革  
プロジェクトを進行させ、今年五月に  
は、来年度から実施する新カリキュラ  
ムを決定しました。学科を越えた履修  
を可能にすることで、他大学には真似

のできない「札幌大谷の学び」を実現  
します。

来年度より、音楽学科には「音楽総  
合コース」を、美術学科には「ファッ  
ション・デジタルフアブリケーション  
専攻」を、地域社会学科には「地域マ  
ネジメント」「地域行政」「地域福祉」「ま  
ちづくり総合」の四つの履修モデルを  
新設します。

二〇一九年二月十七日(日)に第一  
回ホームカミングデイを開催します。  
卒業生の皆さんを母校にてお待ちしております  
あります。新校舎の見学もしていただ  
けるはずで。新しい札幌大谷をぜひ  
見に来てください。

このたびの胆振東部地震に際し、心  
よりお見舞い申し上げます。1日も早  
い復旧をお祈りいたします。



札幌大谷大学同窓会 会長 小原 明美  
(音楽科14期)

澄み渡る空気が心地よく感じる季節  
になりましたが、皆様いかがお過ごし  
でしょうか。

定期的を開催しております各科イベ  
ントも順調に回を重ね、各方面からご  
好評いただいております。

地域の恒例行事となっており、毎回  
多くの親子連れで賑わう「キッズフェ  
スティバル」は、今月十三日(土)、も  
うすぐです。お子さん、お孫さんとご  
一緒に遊びにいらっしやいませんか。

十二月一日(土)に行われます社会  
学部教育講演会は、さまざまなお種、  
幅広い世代の方々には是非聞きいただ  
きたい内容です。有意義な時間をお過  
ごしいただきたく、皆様のお越しをお  
待ちしております。

平成三十一年四月二十七日(土)に  
は「谷の音会コンサート」、「谷の会展」  
は平成三十二年六月に開催です。

音楽科の皆様にはすでにご案内して  
おりますが、来年一月十三日(日)に  
行いますオーディションのご参加を、

また美術科の皆様へは少し早い時期か  
らのお願いになりますが、作品制作の  
ご準備を宜しくお願い致します。

さて、来年二月十七日(日)、大学  
と同窓会の共催による「ホームカミン  
グデイ」を開催致します。卒業して時  
間が経ちますと学校に出向く機会が少  
なくなってしまう方が多くいらっしや  
います。大学の現状、教育内容、諸活  
動をご覧いただき、恩師、教職員、学  
生達と交流することで縦横のつながり  
を深める事を目的としております。

退職された先生方にもお声がけして  
おります。

寒い時期ですが、是非今からご予約  
に入れていただき、お運びいただけま  
したら幸いに存じます。

同窓会活動は卒業生お一人お一人の  
力が必須です。各科イベント、ホーム  
カミングデイを皆様のご理解とご協力  
で是非盛り上げていただきたくお願い  
申し上げます。



芸術学部  
音楽学科長

千葉 潤

平素より大変お世話になっております。今年の音楽学科は新たに三人の専任教員（ピアノ・外山啓介講師、声楽・針生美智子准教授、管弦打楽・大隅雅人教授、いずれも北海道出身）が着任したほか、新しい客員教授の小田桐寛之先生（東京都交響楽団首席トロンボーン奏者）を始め、非常勤講師にも多くの優れた演奏家・指導者の方々に加わっていただき、昨年に引き続き、教員スタッフの充実を図りました。

本年五月に開催いたしました吹奏楽の道東コンサート・ツアーでは、帯広、釧路、北見に於きまして、いずれも三〇〇〜四〇〇人の観客を集めることができ、好評のうちには無事終了することができました。また七月の札幌コンサートホールキタラにおける「札幌大谷大学ウインドオーケストラ第十二回定期演奏会」では、ラングフォード作曲《トロンボーン協奏曲》で、小田桐先生に素晴らしい独奏をご披露いただいた他、今年から本学客員教授に就任された井手先生のタクトの下、学生たちが熱狂的な演奏を繰り広げてくれました。同窓生の方々にも多数ご来場いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

さらに七月二十六日には、芸術学部の音楽学科・美術学科三年生を中心とした演習科目「共同制作演習A」の学習成果として、モーツァルトの《ゴジファン・トゥツェ》（抜粋）が記念ホールで上演され、ほぼ満員の観客の前で半年間の学修成果を披露し、ご好評をいただくことができました。

大学では、次年度に向けて新校舎の改築や入試改革、新コース設置等、様々な改革を進めております。同窓生の方々に置かれましては、引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



芸術学部学部長  
美術学科長

今 義典

一番厳しい批判を受けるのは皆様OGの方々からです。その都度頭の下がる思いですが、その言葉の裏には母校への強い愛があるので全く嫌な気になりません。却って腹の底から頑張ろうという気持ちになります。どこの大学も（国立でさえ）凌ぎを削っているご時世です。学生募集は考え方の回路一つを変えることで、良い方向へ向かうものなのでしょう。古い慣習がそれを邪魔しているかもしれませんし、なかなか一筋縄ではないのがこの学生募集です。今回はこれに終始するのも何ですので今の学生というテーマで書きます。

共同制作演習の舞台が終わった直後、抱き合っただけ泣いている学生たちの姿をよく見ます。その度にそういう場に立ち会えることは、本当に教師冥利に尽きるなど感じますが、その一方で、個人レベルではどうでしょう？ 団体戦ではなく、どれだけ孤独と向き合い自身を追い込み、感極まり、あるいは不甲斐なさに泣くことがあるのか？ 芸術学部の真髄は、芸術の高みにどれだけ近づくか”です。そのため犠牲にするものも多くあるでしょう。

とかく入り口・出口で教員は翻弄されがちですが、何より、かつての自分がそうであったように”その精神を若い世代に伝えてなんぼだと思います。

それを模索・実践しながら我々芸術学部は二〇一八年を迎えています。皆様のお力を陰に感じながら。



社会学部長  
地域社会学科長

西脇 裕之

同窓会の皆様には本学科開設当初より多大なご支援をいただき、まことにありがとうございます。社会学部地域社会学科は、今年度五十二名の新入生及び三年次編入学生一名を迎えて、七年目をスタートいたしました。近年、入学生数の顔ぶれは女子が増える傾向にあり、体育系クラブの男子が多いというイメージは変わりつつあります。

北海道を愛し、北海道で学び、北海道を支える人材を育成するという方針のもと、本学科では地域でのボランティアやフィールドワークに力を注いでおります。今年五月に開催された積丹町サクラマス祭りには、一年生から四年生まで合わせて十七名が参加し、学年を越えた縦のつながりが作られるようになってきています。

この三月には三期生四十七名を送り出し、三年連続で就職率一〇〇%を達成いたしました。このような卒業生の就職実績を見ましても、地域社会学科の教育の方針に間違いはなかったと確信しております。現在、来年度の全学的なカリキュラム改定に合わせて、新たに四つの履修モデルを設け、学びから就職への道筋をより明確に示せるように計画中です。皆様に置かれましては、今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



短期大学学部長  
保育科学科長

星 信子

同窓会の皆様には、日頃より多くのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今年度、保育科は九十三名の新入生を迎えてスタートいたしました。また、今春の卒業生は、幼稚園三十名、保育所三十一名（公務員保育士八名含）、認定こども園二十七名、保育所以外の児童福祉施設四名、教育関連の協会等を含む一般職に三名が就職し、六名が本学専攻科等に進学しております。例年と変わらず専門的な職業を選択した方の割合が非常に高く、本学での学びを社会の中で活かしていただけるものと期待しております。

さて、本学では現在、耐震の強度不足が心配される北棟にある教室を移転するため、高等学校の旧校舎後に新校舎を建設しております。この校舎は特に短期大学部のものとして建築を行っているわけではございませんが、一般的な講義室の他、音楽や美術関連の授業に対応する教室などを設置するとともに、保育科教員の研究室も移転して、来年度から保育科の授業の大半は新校舎で実施する予定になっております。同窓生の皆様には、慣れ親しんでいただいた北棟・西棟からの移転は寂しい思いもあるかと存じますが、設備の整った新校舎で、ますます教育活動の充実に努めて参ります。今後とも変わらぬ温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 釧路支部



支部長 泉 洋子

音楽科12期

### 「周年行事を終えて」

例をみない天候、様々な出来事、驚くに事欠かない日々ですが、皆様お元気で過ごしのことと存じます。

さて昨年釧路支部は三十周年記念コンサートを催し、その際には学校、同窓会共に、一方ならぬお世話にあずかり、支部一同心より感謝申し上げます。おかげをもちまして無事終えることができ安堵しております。また思うに何度回を重ねても楽になることなどなく、その都度学ぶこと、乗り越えるものが違っている様な気がします。只会員の一つのもので作り上げてゆく、まっすぐな思いだけはいつまでも持ち続けたいと思います。

今年五月十三日に支部総会を行い、その他は特に行事は予定しておりませんが、またこの先を見つめて皆で歩んでゆきたいと思っております。



## 十勝支部



支部長 植松 恵

音楽科13期

### 「新しい年度を迎えて」

一昨年度は、支部設立十周年を迎え、大学から先生をお招きしての演奏、そして小山隼平先生に委嘱した合唱曲「十勝のための組曲」を演奏し盛大に行うことができました。今年度は、役員も一新し、前高橋亜香支部長より、私、植松が支部長を引き継ぐこととなりました。今まで、支部の活動になかなか協力できていなかったこともありましたが、今後は役員として、会の活動に力を注いでいきたいと思えます。

総会を四月七日に十三名の参加で行いました。昨年度の反省と今年度の計画を確認し、そのあと懇親会を持ち和気あいあいと交流を持つことができました。

今年度は、支部として大きな行事もありませんが、大学主催のイベントへの協力や、会員の交流を深めていきたいと思えます。先日、大学のウインドオーケストラの演奏会を帯広で聴かせていただきました。現役の皆さんの素晴らしい演奏に感動いたしました。大谷の新しい伝統づくりに少しでも協力できたらと思います。それが、同窓会活動を盛んにする一つかとも思えます。

## オホーツク支部



支部長 横島 桂子

音楽科19期

### 「生きている今」

今年だけではありませんが、ここ数年あちこちで自然災害が起きています。亡くなられた方、ご家族や財産を失い苦しんでいる方もたくさんおられ心痛む思いです。

あらためて、生きている事、普通の生活が出来る事に感謝しております。

オホーツク支部では北見市ではじめての札幌大谷大学ウインドオーケストラコンサートが行われ、聴きに行つて参りました。オホーツク管内出身の学生もおられ、札幌大谷大学が札幌だけではなく北海道内に浸透しているのを感じました。九月に行われる響流セミナーも北見の人達の勉強の場としてとても楽しみにしております。

オホーツク支部の活動として今年度は、十一月三日(土)に北見芸文ホールロビーコンサートを予定しています。毎年二回発行していた支部だよりは十二月に一回、一年分を発行することに第二回幹事会で決定致しました。これからも肩の力を抜き、「生きる喜び」を感じながら、色々な事に取りくんできていきたいと思っております。

# 輝いて今……各科のなかまたち

「仕事が楽しいと感じられる感謝」

**傳法 哲子** 保育科19期



保育科を卒業して専攻科に入学し、修了後幼稚園に就職。二年間勤めて退職しました。その後二人の子どもに恵まれ、子育てに専念していました。

下の子どもが中学校に入学したことを機にご縁があつて以前とは別の幼稚園に週五のパートで働かせていただいています。

現役の始めは一年保育が主体でしたが、勤めていた十二年の間に一年保育が無くなり、三年保育が導入され、保育形態がどんどん変化し、免許も二級から二種に替わる等激しい変化がありました。

パートのお話をいただいた時はそんな変革の時を離れて十五年以上たっていましたので不安はありましたが、前年の末頃から慣らしで通わせていただき、気が付けば雇っていたから七年目となりました。

現在は年少クラスの補助に入り、かわい子ども達とおしゃべりをしたり、遊んだりしながら、子ども達の大きな成長を肌で感じています。帰宅後はかなり疲れています。息子に「でもお母さんは楽しんでるよね。」と言われ、この年齢になって傍からもそう見えるほど楽しめる仕事を続けられることは環境全てに感謝しないと心から感じていきます。

「合唱団に入団して」

**吉田真樹子** 音楽学科3期



大学卒業後ハンガリーのリスト音楽院へ留学致しました。四年間の留学生生活を終え、昨年よりハンガリー国立歌劇場の専属合唱団員として舞台に立ちます。約百二十名が活動する合唱団で外国人は私だけという環境の中、出勤初日のリハーサルはとても緊張しました。幸い同僚達はとても親切だったので、私の緊張は少しずつ和らぎました。また、リハーサル時に聞いた彼らの歌声の迫力に感動し、この合唱団の団員として歌えることに喜びを感じ胸が熱くなったのを覚えています。

この一年で十作品ものオペラに出演し、そのうちの一つの作品に合唱団員から成るオペラがありました。主役陣に選ばれた団員達の力には驚きました。ソリストとしても実力を兼ね備え、幅広く活躍している彼らからは学ぶ事が沢山あります。

多くの作品を上演するため、連日の練習時には体力的に厳しく感じることもあります。ですが、大学時代から憧れていたオペラの舞台に、合唱団という職業として関われる事を改めて幸せに思います。今後、長く音楽活動

を続ける為にも、刺激と貴重な体験に溢れるこの地で、体力造りと技術の向上、新たな挑戦もして行きたいと思えます。

「感謝」

**齋藤真由子** 美術科44期



私が絵を描き始めたのは父の影響でした。心臓病で手術をしたため、外で遊ぶことの少なかった私にとって、父と一緒に絵を描くことが何より楽しみでした。

幼い頃、当時住んでいた函館の家の近くにあった絵画教室に通い、その後、小五から今なお通い続けている絵画教室で「描くこと」の楽しさ、情熱がどんどん膨らんでいきました。

中一の時、担任の先生が美術部を勧めてください、それが後押しとなって、美術の道に進むことに迷いはありませんでした。

大学に入ってから、グラフィックや商業デザイン、そして東京ビックサイトでテキスタイルデザインコンペティションなど、様々な事を学び、卒業後は絵画だけではなく、レジン雑貨制作や陶芸にも手を伸ばしています。

最初に「描くことが大好き」と思わせてくれた父、そしてこれまでいろいろな形で私を導いて下さった諸先生に心から感謝いたします。

「今に感謝して」

**川原田 凌** 社会学部3期



札幌大谷大学社会学部での四年間は、ありきたりな言葉で恐縮ですが、本当に長いようであつたという間の時間でした。入学したのがついこの間の事のように感じます。

現在、私は北海道旅客鉄道株式会社に勤務し、加えてJR北海道硬式野球クラブに所属しております。会社の経営状況により、昨年からクラブチームとして活動を再開し、社業と野球を両立しながら、会社、地域、応援して下さる方々のために、日々精進している最中です。

大学時代は、入学当初から「文武両道を体現する」という大きな軸を持ち、学業と部活動の両面において、誰が見ても納得の行く成果を出すことを念頭に置いていました。結果

的に、その点を社会学部の先生方に高く評価して頂き、大変充実感のある大学生活を過ごせたと実感しています。

現在の生活も、その点においての変化はありません。社業と野球をどちらも全うし、沢山の方々から応援されるチーム・選手になることが求められています。ただ、これまでと全く異なるのは、「好きな事で給与を頂いている」という事です。学生まではお金を払って野球をしてきましたが、今はそうではありません。つまり、結果を残して貢献できなければ、この世界で生き残ることは難しいということでもあります。

毎年が勝負になる厳しい世界ではありませんが、その中で野球をさせて頂けることを幸せに感じています。機会がありましたら、大人の一球に賭ける本気の野球を観に来て下さい。

## 図書館について

本館と第2図書館の2箇所に分かれていましたが札幌大谷大学図書館は、記念棟1階の本館に統合されました。自由にご利用できますので、皆様是非ご活用下さい。



### 開館時間

月～金曜日	9:00～19:00
土曜日	9:00～16:30
長期休暇中	9:00～16:00

### 閉館日

※日曜日、国民の休日、年末年始及び大学の定めた休日。その他、学校行事等の都合で臨時閉館または開館することがあります。



## 平成29年度収支決算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収入 10,996,413円  
 支出 6,742,353円  
 差引残高 4,254,060円 (次年度繰越)

札幌大谷大学同窓会真心会

### 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
入会金	2,630,000	2,750,000	△120,000	短大1年入学手続者 172名 大学1年入学手続者 102名
会費	3,361,000	6,512,000	△3,151,000	短大在学生 110名 大学在学生 153名 卒業生 435名
雑収入	200,000	251,975	△51,975	御祝儀 50,000円、懇親会 12,000円 預貯金利息 189,918円 札幌芸術文化財団 57円
前年度繰越金	1,482,438	1,482,438	0	
合計	7,673,438	10,996,413	△3,322,975	

### 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
同窓会便り発行費	350,000	290,239	59,761	第41号印刷費 7,700部
同窓会便り発送費	700,000	658,501	41,499	発送費@89 7,379部
消耗品費	20,000	4,318	15,682	事務用品等
活動費	500,000	258,147	241,853	役員活動費、交通費
通信・連絡費	200,000	191,691	8,309	総会案内ハガキ、資料発送費、電話代
印刷費	250,000	249,797	203	総会案内印刷、封筒、コピー代
会議費	300,000	121,919	178,081	役員会等費用
慶弔費	200,000	102,000	98,000	入学・卒業式・三科支部祝花・香典・供花
補助費	500,000	380,000	120,000	各支部@60,000×3 各支部会員数別補助費
データ管理費	80,000	54,000	26,000	名簿データベースメンテナンス
卒業記念品	400,000	362,860	37,140	29年度卒業生名簿、卒業記念品
支部関連費	500,000	279,933	220,067	支部会議・交通・宿泊費等
行事費	500,000	710,830	△210,830	谷の音楽コンサート・谷の会展
備品費	100,000	0	100,000	
雑費	73,438	78,118	△4,680	振込手数料、その他
積立金	3,000,000	3,000,000	0	
合計	7,673,438	6,742,353	931,085	—

## 活動報告

《平成30年度事業ならびに活動予定》

平成30年	4月4日(水)	大学・短期大学部入学式出席
	5月19日(土)	同窓会本部・支部連携会議及び総会
	10月上旬	第42号同窓会だより
	10月13日(土)	「OTANI」発行予定
	12月1日(土)	キッズフェスティバル(保育科) 第1回社会学部 講演会
平成31年	1月13日(日)	第42回谷の音会コンサート オーディション
	2月17日(日)	第1回ホームカミンググeday
	3月9日(土)	大学・短期大学部卒業式 出席予定



## 同窓生数

同窓生数計	14,294名
保育科	5,238名 (専攻生含む)
芸術学部音楽学科	5,204名 (旧音楽科、音楽学部、研究生含む)
芸術学部美術学科	3,738名 (旧美術科、芸術学部、専攻生含む)
社会学部地域社会学科	131名



ソルちゃん

## 札幌大谷学園附属音楽教室

随時募集中!



ベンくん

幼児から受験生まで 母校でお子様の音楽教育を!!

札幌大谷学園附属音楽教室は、平成28年に開室されました。

どのお子様にも自然なソルフェージュ能力を育み、音楽的自立を促すレッスン。45分の個人レッスンとグループレッスンがセットのバランスのよい音楽教育が基本です。大谷学内でのグランドピアノでのレッスン、そして記念ホールでの発表会が含まれています。幼児リトミック、基本コースのほか、既に楽器のレッスンを始めているお子様のためのソルフェージュコースも新規開設。ヴァイオリンのレッスンも可能です。

### 無料体験レッスン・見学・入室

ご相談・ご質問だけでもお受けしています。

☆メールでのご相談  
ongakukyoshitsu@sapporo-otani.ac.jp  
※教室アドレスからのメールが受信拒否にならない設定をお願い致します。  
☆お電話でのご相談  
011-742-1651 (代表) お電話受付時間 平日9:00~17:00

QRコードで簡単アクセス!  
<https://www.sapporo-otani-music.com/>



## 《会費の納入方法》 平成26年度より改正

### 【在学生 (準会員)】

\*平成26年4月1日入学生から

- ・入会金 10,000円: 入学時に納入
- ・終身会費 20,000円: 大学…4年次後期に納入  
: 短大…2年次後期に納入

\*平成24年4月~平成25年4月までの入学生 (現3、4年生)

- ・入会金 10,000円: 入学時に納入
- ・卒業時に以下①②のどちらかを選択
  - ①終身会費 20,000円: 卒業時(正会員となった時)に納入
  - ②卒業後⑥年目より年会費 1,000円を毎年納入
- ※年会費を選択した場合、卒業から5年間の会費納入は免除

### 【卒業生 (正会員)】

\*正会員になってから6年未満の会員 (平成20年度~平成25年度の卒業生)

- 卒業してから5年分の会費免除。
- 6年目から以下①②のどちらかを選択
  - ①終身会費 20,000円を納入
  - ②年会費 1,000円を毎年納入

\*正会員になってから6年以上の会員 (平成19年度以前の卒業生)

- 平成26年度より、以下①②のどちらかを選択
  - ①終身会費 20,000円を納入
  - ②年会費 1,000円を毎年納入

会費納入についてのお問い合わせは同窓会室 FAX か gmail とします。

FAX/011-743-6466 gmail/ootanisinsinkai@gmail.com

※振込用紙は同窓会だより郵送時の宛先も兼ねておりますので、終身会費を納入頂いた方にも同封されます。お手数ですが、破棄願います。



# 札幌大谷大学同窓会真心会釧路支部設立 30 周年記念コンサート

♪ Schulkameraden Otani ♪

2017.9.16 釧路市民文化会館小ホール

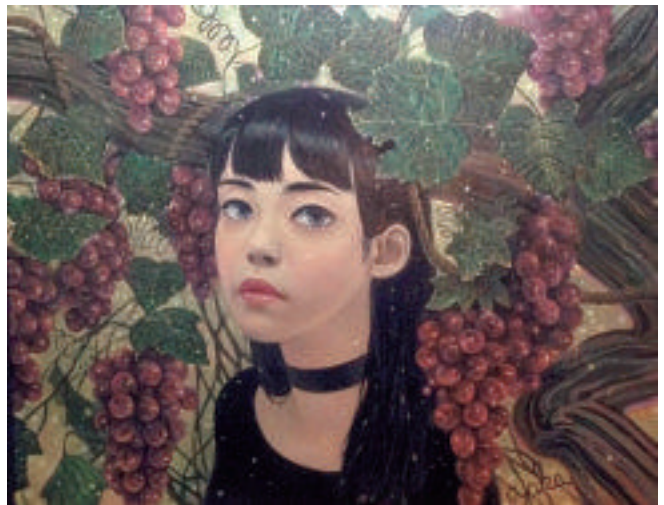
\*\*\*\*\*

## 同窓会ギャラリー 本学食堂に展示

\*\*\*\*\*



「不確かなもの」森谷 有沙  
美 44 期 平成 22 年度  
後期展示



「鏡の中の果樹園」佐藤 綾香  
美 44 期 平成 22 年度  
前期展示

**編集後記**

台風、地震で被災された  
多くの皆様に、心よりお見  
舞い申し上げます。  
今年も無事、同窓会だよ  
りをお届けできますことを  
感謝いたします。

- |          |               |
|----------|---------------|
| 名譽会長     | 高橋 肇 (学長)     |
| 役員       |               |
| 会長       | 小原 明美 (音14期)  |
| 副会長      | 佐藤 潤子 (美12期)  |
| 副会長      | 澤田 一枝 (音15期)  |
| 副会長      | 山口 由美 (保19期)  |
| 会計       | 佐藤 綾香 (美44期)  |
| 書記       | 清和 友美 (保42期)  |
| 書記       | 今野 くる美 (音33期) |
| 書記       | 齋藤 真由子 (美44期) |
| 庶務       | 藤川 絵里子 (保28期) |
| 会計監査     | 佐武 美香 (保24期)  |
| 会計監査     | 森谷 直美 (音33期)  |
| 支部長      |               |
| 釧路支部長    | 泉 洋子 (音12期)   |
| 十勝支部長    | 植松 恵 (音13期)   |
| オホーツク支部長 | 横畠 桂子 (音19期)  |

平成30年度真心会本部